



## 学校努力点の取り組み

今年度は、「わくわくを見つけて、自分の力でやりとげよう！～プロジェクト型学習を通して～」をテーマに、研究に取り組んでいます。プロジェクト型学習では、子どもの興味や関心に基づいた課題を自分たちで進んで調べていくことができるよう、「ふれる」場面に重点を置き、「ふれる」→「見つける」→「調べる」→「伝える」という流れで研究を進めています。

今回の弥富だよりでは、学校努力点の実践の様子を紹介します。なお、学校努力点の概要については、弥富だよりNo.5や学校ホームページ、校内の掲示板もご覧ください。

**ふれる** …地域の方や実物とのふれあいを大切にしました。

3年生は、「昔の暮らし」をテーマに、学習を進めています。地域の方に学校へ来ていただき、昔の暮らしの様子について話していただいたり、昔の道具の使い方を教えていただいたりしました。また、体育館やピロティーなどに昔の道具を並べ、実際に昔の暮らしを体験しました。子どもたちは、今とは違った道具に目を輝かせ、実際に使ってみることで、「昔の暮らしについてもっと調べてみたい」と、今後の学習への意欲を高めていました。



【手回し洗濯機を使っている様子】

4年生は、「災害からくらしを守ろう」をテーマに、学習を進めています。防災倉庫の中にある防災用具を実際に使ってみたり、身近にあるもの（新聞紙や古着など）で防災用具を作ってみたり、防災センターの方の話を聞いたりしました。防災と聞いても日常の生活ではなかなか身近に感じる事ができず、実感を伴いながら学習を行うことが難しいですが、実際に多くの体験をすることで、防災を自分事として捉えながら学習を進めることができました。



【毛布担架を体験している様子】

**見つける** …何について調べていきたいかを考えたり、友達と話し合ったりしました。

2年生は、「つくる楽しさ発見」をテーマに学習を進めています。国語科で絵本づくりについて学習したことを生かして、生活科でおもちゃをつくりました。その後、おもちゃをパワーアップさせる方法について、どのように調べたらよいか友達と話し合いました。おもちゃを実際に試作したり調べ方を話し合ったりすることで、調べることが明確になり、意欲的に学習することができました。



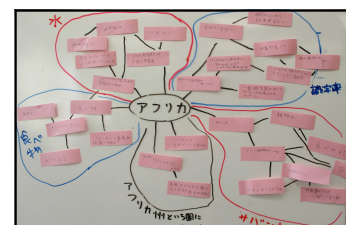
【調べ方を話し合っている様子】

3年生は、体験したことを基に、一人一人がもっと知りたいことを付箋紙に書き、グループで共有しました。そして、「遊び」「学校」「着物」など、種類ごとに分類し、学級全体で共有しました。その後、自分で詳しく調べていきたいことを決め、企画書にまとめました。知りたいことを整理しながら企画書にまとめたことで、調べることが明確になり、計画的に学習を進めることにつながりました。



【調べたいことを分類している様子】

6年生は、「東京オリンピックに参加する国はどんな国」をテーマに学習しました。調べたい国や地域が同じ子ども同士でグループをつくり、疑問に思ったことを付箋紙に書き出しました。その後、付箋紙を線をつなぎ、マインドマップをつくりました。そして、マインドマップづくりを通して見えた新たな疑問をワークシートに書き出し、調べていくことにしました。グループで話し合いながら疑問を整理することで、自分が本当に調べていきたいことを見つけることができました。



【完成したマインドマップ】

## 調べる

…実際に訪問したり、作ったりする体験的な活動を大切にしました。

1年生は、「おいでよ あきのテーマパーク」をテーマに学習しました。校外学習で集めてきたどんぐりを種類分けし、大きさの違うどんぐりごまを回しながら自分のつくりたいスーパーどんぐりごまを考えました。(例：長い時間回るこま、ぶつかっても止まりにくいこまなど)その後、自分のつくりたいスーパーどんぐりごまにはどんなどんぐりが必要かを調べ、実際につくりました。そして、よりよいスーパーどんぐりごまにするにはどうするとよいかを友達と話し合い、改善しました。どんぐりに十分ふれた後でこまをつくったり友達と話し合ったりしたことで、秋の自然を生かした遊びの面白さを味わうことができました。



【改善点を話し合っている様子】

5年生は、「伝えよう！NAGOYAの魅力」をテーマに学習を進めています。名古屋市は8大都市の中で、訪れたい都市の順位が低いことをきっかけに、名古屋にはどのような魅力があるのかについて考えました。そして、名古屋の魅力や疑問に思ったことを友達と共有し、ウェビングマップにまとめた後、一人一人が調べることを決定しました。さらに、調べたい魅力が同じ子ども同士でグループをつくって実際に現地を訪れ、見たり聞いたりして調べました。実際に訪問して見たり聞いたり体験したりしたことによって、図書資料やインターネットでは分からないことが分かり、その後の発表に向けて、主体的に活動する姿が見られました。



【現地で話を聞いている様子】

## 伝える

…調べてきたことを伝えることで、学習の成果を確認しました。

5年生と6年生は、これまで調べてきたことを、学校行事「やとみワールドをつくろう」で発表しました。

5年生は、実際に見学してきた名古屋の魅力を様々な形で発表しました。熱田神宮を調べたグループは、鳥居や賽銭箱等を再現し、参拝の仕方を体験を交えて紹介しました。また、農業センターを調べたグループは、実際に名古屋コーチンの卵を割って他の卵と比べながら、名古屋コーチンのよさを紹介しました。このように実物を交えた発表の他、現地で撮ってきた写真をスライドにして紹介したり、紙芝居にしたり、クイズにしたりして、楽しく説得力のある発表になりました。



【スライドで発表している様子】

6年生は、関心をもった国や地域について調べてきたことを、グループで発表の方法や発表の流れなどを考えながら計画を立てて、発表しました。様々な国や地域の特徴やよさだけでなく、課題についても「ふれる」場面で考えたので、深みのある内容の発表になりました。また、聞き手のことを考えて、ポスター形式やスライド形式の中にクイズを織り交ぜたり、小物を使って分かりやすく伝える工夫をしたりしたことで、楽しく分かりやすい発表になりました。



【ポスターで発表している様子】

## わかくさ学級

わかくさ学級は、「つくって うごかして」をテーマに学習を進めました。色ごとに異なる命令(プログラミング)を出すブロックを使ってつくりたいものを考えたり、実際にブロックを触ったりしながら設計図をつくりました。そして、思い描いた動きになるように、何度も試行錯誤を繰り返し、作品を完成させました。完成した作品は、「やとみワールドをつくろう」で発表し、1年生や2年生の子どもたちに体験してもらいました。いろんな動きをするブロックはとても好評でした。



【作品を体験している様子】



子どもたちが楽しく主体的に学習できるよう、これからも研究を続けていきます。